

平成 30 年度 事 業 報 告

○概 要

平成 30 年度においても少子高齢化は進展し、わが国の総人口は長期の人口減少過程にはいっており 35 年後には 1 億人を割ると推計され 46 年後には 8,808 万人となり、約 2.6 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になると推計されています。この高齢化社会による労働人口の減少また経済の緩やかな回復が続いていることなどにより労働力不足、人手不足となっています。

そのような中、シルバー人材センターは高齢化社会の担い手として基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、地域の皆様からの期待に応え、信頼され、頼りにされるセンターをめざし、美作市をはじめ関係機関のご支援とご協力を得て、業務を推進してまいりました。

平成 30 年度の事業実績は、契約金額では前年度より 3.3% 伸び 3,610 千円の増、受注件数では 1.6% 伸び 39 件増えました。会員数については、前年度 20 名もの大幅な減少であった為、さまざまな PR、役員・会員の口コミなどにより、今年度は前年度に対し 15 名増え 298 名となりました。

派遣事業の実績は、契約額が 10,342 千円と前年度より少々伸びておりますが、受注件数、就業延人員ともに減少しました。派遣事業については、企業が人手不足の為、受注はあるものの、会員の希望する就労で無いことや、固定された日程での就労を望まない会員も多くありマッチングができなかったこと等が原因と考えます。今後は会員の多様なニーズに応じた就業機会を確保し提供するとともに、発注者の多様なニーズに応える為、より一層、会員の増強が必要であると感じました。

今年度も非常に暑い日が続き、どの作業も大変でしたが、長年培ってきた知識や技能、経験を發揮し、仲間と生き生きと働き、働く事で健康でいられ、地域社会とつながり貢献することができるよう役職員と会員が一丸となり努めて取り組んできました。

以下、事業の報告をいたします。

1. 普及啓発活動の実施

- ・機関誌への広告掲載、告知放送を活用し、会員募集を呼びかけました。
- ・会員募集、お仕事募集の案内を掲載した「シルバーだより」を発行し、2 社の新聞に折込し各家庭へ配布、公共や企業への訪問による配布、また公共や企業の窓口などへ設置させていただきました。
- ・職員が法被を着て「マルイ湯郷店」「A コープみまさか店」の 2箇所の店舗においてシルバー人材センターののぼり旗を立てチラシの配布を行いました。地域の声を直接聴く事のできる良い機会でした。

- ・市役所の各窓口などに PR 用のティッシュを設置するなどして PR に努めました。
- ・個別の知人等への声掛けによる入会の促進を図りました。
- ・ホームページを活用し、地域から離れた方にも PR を行いました。

2. 安全・適正就業の推進

- ・「安全は全てに優先する」をモットーに安全パトロールなどで、作業前には安全ミーティングを行うように指導し、事故防止対策を実施しているところですが、3件の怪我、4件の蜂刺され、1件の賠償、3件の熱中症が発生していました。その為、今年度は安全・適正就業委員会にて「美作市シルバー人材センターの安全ルール」が決められました。今後も安全ルールの順守と事故防止、健康管理等を徹底していきます。
- ・「交通安全無事故・無違反チャレンジ 200 日」へ 4 チームが参加・挑戦し、今年は 4 チーム中 3 チームが達成しました。
- ・適正就業の推進、就業率の向上の見地から、極力就業のローテーション化に努めました。

3. 派遣事業等の推進

- ・適正就業のため、企業等の発注に対し派遣事業の推進を行なった結果、就労内容や、固定就労が好まれず、発注者と会員とのマッチングができないこと等もあり、なかなか契約に結びつかないことも多くありました。
- ・臨時的かつ短期的業務への雇用・就業を希望する一般求職者や会員を対象とした職業紹介事業の実績はありませんでした。

4. 就業等に関する調査研究事業の実施

- ・組織づくり、技能の向上のための役員等による調査視察研修を行いました。
- ・電話等でのお客様の声としては、感謝の言葉が非常に多く寄せられている中に、「作業をしている場所が違う」「作業が荒い」「作業前写真がない」などの就業結果、「作業中に話が多い」「話し声が大きい」などの就業マナーに対する苦情もありました。

5. 会員拡充と就業機会の開拓・提供業務の推進

- ・公共団体・企業等各機関、市民の皆様への会員拡充、就業開拓のPRの為、また公益法人組織であるということから各地区役員、会員の協力を得て公共施設等のボランティア（奉仕）活動を以下の市内3ヶ所で実施しました。
 - 東部支所（赤田グランド進入道路法面草刈作業）
 - 英田支所（英田幼稚園、保育園の剪定作業）
 - 本所（福祉センター剪定、草刈り作業）

6. 会員への技術等の付与

- ・県連合主催で10月に剪定講習会が行われ、11名が受講されました。
 - ・当センター主催で剪定講習会、障子・網戸講習会、安全講習会を、実施しました。技能の継承を行う為、今後も継続していきます。
- また、今年度は講習会の参加者に、今後受講してみたい講習会についてアンケートを実施したところ、さまざまな意見がありましたので今後の参考にしていきます。

7. 平成30年度の就業機会の実績数

(1) 就業実人員	248名	(2) 就業率	83.2%
(3) 就業延人員	17,227人日	(4) 受注件数	2,402件
(5) 契約金額	113,331千円	(6) 年度末会員数	298名